

# 5th TOPIC



## ピアノが弾けないと保育者になれない？

### 乳幼児期の音楽表現とは！ 子どもの表現を育む専門性って？



## ピアノの魅力を感じて

本学でピアノレッスンを行う授業「子どもと音楽」では個人練習とML(ミュージックラボラトリー)とを併せて、演奏法や響きの美しい簡易伴奏等による歌20曲をレベルに応じて行います。また、歌やリトミックにより音楽知識・技術・人としての基礎的な感性を育みます。

和泉生の7割以上は初心者ですが、ほとんどの学生が卒業までにある程度弾けるようになり、子どもと様々な方法で音楽を楽しめる保育者になっています。大学のレッスンで練習方法を知り、職場で新しい曲に挑戦しているそうです。

### 保育ではピアノだけではない、多様性が大切

皆さんのイメージに定着している「先生のピアノ伴奏に合わせてクラス全員で同じ歌をうたう」活動は、保育者主導で歌わせるためではなく、子どもに多様な表現と出会うきっかけを示しているものと言えます。小学校以降の教科「音楽」では、「楽曲の歌唱・鑑賞」や、「演奏技術を獲得する(練習・発表)」などを行いますから、**一斉に**ピアノで保育者が指示するイメージが強くなっているかもしれません。

ピアノは鍵を打てば正しい音程が鳴り、弦楽器等に比べて10分練習すれば10分ぶん、上達する楽器と言われています。さらに音量も丈夫さもあり、長く教育・保育現場で伴奏に活用されています。



## “子どもと音楽する”保育者の役割とは

### 「“子どもと音楽すること”の意味を知る」ことが専門性

今後はピアノだけでなく、それぞれの特性を活かしたりや子どもの姿に合わせて、**多様な関わりや表現を活かす協働的な保育スタイル**が求められています。

ですから誰もがピアノ伴奏が上手くできないとならない保育現場は減少し、この10年程は採用試験科目にピアノ演奏を指定する保育所・幼稚園・認定こども園は僅か数園です。

ピアノ以外の楽器での伴奏、手を繋ぎ向かい合って、鈴やタンバリンで打楽器の軽快なリズムを共有し歌や音楽を楽しむ園もあります。子どもにとって生活や遊びの中の音楽はコミュニケーションそのものです。目の前のその子を理解し、何気ない仕草から“音楽している表現”を見つけてその子と豊かに繋がる、あなたの長所を生かして一緒に音楽する保育を創りましょう！

## 子どもとの音楽・音楽教育において 保育者の最も重要な役割は

- ① 子ども一人ひとりの個性に応じて、
- ② 子どもが自ら表現したくなる環境を整え、
- ③ たっぴりコミュニケーションして愛情を伝え、
- ④ その子らしさを大切にしつつ、
- ⑤ つくったり工夫したりする  
“プロセスを楽しむこと”です。

例えば、サッカーでシュートが決まった子どもが、「ゴールっゴールっ」と繰り返し雄たけびを上げ走り回る内に皆も加わり、言葉のリズムと抑揚が歌と踊りに発展した事例があります。

これらは日頃の遊びの中で、自分らしく音楽を創る過程となっていて、ここに保育者の専門性が発揮されるのです。保育者には、子どもの丸ごとの“表現”を見る目によって生み出される適切なガイドが必要で、それが子どもがより人と関わり表現したくなる気持ちを引き出し磨くことになるのです。

## 乳幼児期の「表現」は

- ・ 他者と生きるために自分をどう表現するか多彩な声・音・顔の表情・抑揚等により自分を相手に伝える力を育む
- ・ 様々な文化により人生をどう豊かにするかー生活を彩る魅力ある音楽文化（楽曲や楽器・踊り等）との出会い

を目的としていて、

「生きるために必要な力」を育てる表現教育・音楽教育なのです。

## 乳幼児期の音楽のキーワードは

日常生活の中で

楽しさを味わう

“自分なりに”「感じたり・考えたり・イメージしたりすること

「工夫すること・つくること」

そこでは、日々の生活の中で生まれる音楽・造形・身体・言語に境界を設けず、子どもからの表現を丸ごととして扱い、結果ではなくプロセスの過程で、共感的に味わっていくことが求められているのです。

## 音楽大学・大学院卒の元保育者が、子どもと“音楽する”専門性を指導

和泉短大の3つの音楽教育科目「子どもと音楽」「保育内容 表現」「保育内容の総合的指導法 音楽表現」は、実際に子どもの音楽教育やクラス担任として保育実践経験を積んだ専門の教員が担当します。

単にピアノ演奏技術や手あそびのレパートリー増では充分でないからです。保育所保育指針や幼稚園教育要領等の「領域 表現」の考え方を、保育の具体的な内容（音やリズムとの出会い・自分らしい音楽づくり）に結びつけた授業により、子どもを主役に、音楽を奏で、楽しみ、味わう「保育者の実践力」を育てます。

## 授業「音楽表現」の一コマ

自分が創った歌あそびを先生役で発表！笑顔があふれます。

「うた遊びって誰でも創れる」を体験する等、子どもと一緒に音楽を創って遊べる保育者を目指し様々な学びます。

